

登録コード	UAA19500	開講年度	2026			
授業題目	比較言語文化総合演習				担当教員	伊藤 加奈子
					副担当	葛西 敬之・澁谷 豊
単位数	2	講義期間	後期	曜日・時限	金曜・3時限	
			授業形態	演習		
信大コンピテンシー	非該当					
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」				【授業の達成目標】	
	2 6 UAカリ・総人社・人間文化学, 2 5 UAカリ・総人社・人間文化学					
	【人間文化学】思想、歴史、社会、情報、言語、芸術など多種多様な側面を持つ人間文化に関する深い素養と幅広い理解を基盤として、その文化を継承し、柔軟な感性と創造的な論考により専門領域の問題を客観的・学問的に究明し、独自に理論を構築する能力や仮説を検証する能力を有する。				言語文化に対する素養と理解を持ち、専門領域に関する問題を確かな根拠を以て客観的に究明し、独自の考えを構築することができる。	
	【人間文化学】人間と社会を探究する学問分野間の総合的な知見を活かし、俯瞰的な視野で課題を捉える力を有する。				言語文化に関する諸領域の総合的な知見を活かし、俯瞰的な視野で様々な課題を捉えることができる。	
(2)授業の概要	研究テーマに関する認識を深め、さらに新たな知見を得るために、受講生の専門領域と現在関心を抱いているテーマが、比較論的地平において、多様な言語文化の歴史的変遷のなかにどのように位置付けられるかを検討し、総合的・比較論的に考察する力をさらに高める。					
(3)授業計画	第1回：ガイダンス：当授業のねらいと概要を解説し、参考書、授業の進め方、自主学習の方法について説明を行う（担当：伊藤、葛西、澁谷） 第2回：中国語学中国文学領域——書評対象論文の選定・批判的読解（担当：伊藤） 第3回：中国語学中国文学——書評の作成にあたっての準備（担当：伊藤） 第4回：中国語学中国文学——書評の作成（担当：伊藤） 第5回：中国語学中国文学——他の受講生の書評へのコメント（担当：伊藤） 第6回：中国語学中国文学——ディスカッション（担当：伊藤） 第7回：ドイツ語学ドイツ文学領域——書評対象論文の選定・批判的読解（担当：葛西） 第8回：ドイツ語学ドイツ文学領域——書評の作成（担当：葛西） 第9回：ドイツ語学ドイツ文学領域——書評の発表（担当：葛西） 第10回：ドイツ語学ドイツ文学領域——ディスカッション・小括（担当：葛西） 第11回：比較文学領域——「比較文学研究の基礎的方法論」：書評対象論文の選定（担当：澁谷） 第12回：比較文学領域——書評対象論文の批判的読解（担当：澁谷） 第13回：比較文学領域——書評の作成（担当：澁谷） 第14回：比較文学領域——ディスカッション（担当：澁谷） 第15回：まとめ（担当：伊藤） テストは行わず、レポートを課す（第15回授業の際に出題）。					
(4)成績評価の方法	● 授業への参加度、質疑応答の内容、成果物の質などを総合的に評価する。 ● 得点率による評価基準は次のとおりとする。 90%以上 秀, 89-80% 優, 79-70% 良, 69-60% 可, 59%以下 不可					
(5)成績評価の基準	【卓越している】各研究領域の授業で扱われた問題を理解し、質疑応答を通して問題を深めながら新たな課題を見つけ、その課題解決の道筋を示すことができ、各専門領域の相互連関を踏まえて自ら関心を抱いているテーマを大きな展望のもとに位置づける力を総合して、極めて高い水準にある。秀 【かなり上にある】上記の力が、非常に高い水準にある。優 【やや上にある】上記の力が、高い水準にある。良 【その水準にある】上記の力が、一定の水準にある。可					
(6)事前事後学習の内容	随時、課題を示す。					
(7)履修上の注意	第二回以降の開講日時は教員と受講生で相談の上、設定する。					
(8)質問、相談への対応	アポイントメントによる面談等で受講生からの質問に対応する。					
【教科書】	プリントを配布するなどして進める。					
【参考書】	佐々木英昭編『異文化への視線——新しい比較文学のために』名古屋大学出版会 縄田雄二編『モノと媒体の人文学——現代ドイツの文化学』岩波書店 その他、教場で指示する。					